以下諸品ノ輸出禁止ハ千九百十四年十二月六日ヨリ施行ス

毛絲但シ少クモ一割以上ノ羊毛ヲ含メルモノ

毛布

毛織物但シ特定セラレサルモノニシテ一「メートル」平方ニ付キ五〇〇「グラム」以上ノ重量ヲ有スルモノ

羊毛製靴足袋

羊毛製手袋

編胴衣

愛斯蘭土胴衣

毛織物但シ特定セラレサルモノニシテ一「メートル」平方ニ付キ五〇〇「グラム」以上ノ重量ヲ有シ切截セラレタルモ裁縫セラレサルモノ

護謨、「カタベルチヤ」、加工セラレサル「バラタ」及再製セラレタル護謨

純錫又ハ錫、鉛合金ニテ鍍シタル加工シタル又ハ加工セサル鐵板

金屬葉及鐵葉(ブリキ)但シ一箇ノ重量一「キログラム」以上ノモノ及其他

銅塊但シ電氣法ニテ製シタルモノ

古銅

銅板及帶但シ厚サ少クモ三「ミリメートル」ノモノニシテ輪展若クハ壓延シテ製セラレ且ツ其形長方形或ハ其他ノ形狀ヲ呈セルモノ

鑄型用銅錠及眞鍮錠

銅竿及眞鍮竿但シ輪展シ若クハ鍛錬シタルモノニシテ其以上加工セラレサルモノ

銅線及眞鍮線但シ輪展シテ製シタルモノ

○瑞典國輸出禁止品（三月二十日官報）本件ニ關シ同國駐剳内田特命全權公使ヨリ去月九日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本年一月二十七日本欄内參看）（外務省）

瑞典國政府ハ本年二月七日以後左記ノ諸品ノ輸出ヲ禁止セリ

脂、但シ瑞典國產ナルコトヲ證明スルトキハ此限ニアラス

松樹皮其他ノ製革用木皮

獸毛

護謨屑及消耗セル護謨

「クローム」鐵

銅、精製セサルモノ但シ精製シタル銅ニシテ產地證明書ニ依リ瑞典國精製工場ノ原料ヲ以テ製シタルモノナルコトヲ證明シ得ルモノハ此限ニアラス、「アノード」(anode)鑄銅 (cast) 穿孔セルモノ及穿孔セサルモノ、銅滓(scoria)、銅ト亞鉛、錫其他ノ卑金屬トノ合金即チ黃銅 (yellow copper)、靑銅 (bronze)、白銅 (german silver)、「ブリタニアメタル」(britannia metal)等

「アルミニウム」、「アンチモニー」及「クローム」ノ精製セサルモノ及滓

「アルミニウム」板、「アルミニウム」桿、「アルミニウム」釘、「アルミニウム」線

硫黃、硫酸、無水硫酸 (colophonium)、「テレビン」樹脂、「テレビン」油但シ「テレビン」油カ瑞典國製造所ニ於テ製造シタルモノナルコトヲ產地證明書ニ依リ證明シ得ルモノハ此限ニアラス

右等諸品ト雖モ二月六日午後十二時前ニ外國宛ニテ船積又ハ汽車積ヲ了シタルモノハ輸出スルコトヲ得

西班牙國法令

西班牙國法令

第一　海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關スル海牙條約實施ニ關スル西班牙國ノ勅令

（大正三年十二月六日附報告）

勅令主意書

中立國及中立人ノ權利義務ニ關シテハ一九〇七年第二回海牙平和會議ニ於テ決定セラル、所ニシテ其內條約第五ハ陸戰ノ場合ニ關シ又條約第十三ハ海戰ノ場合ニ關スルモノナリ而シテ右第五條約陸戰ニ關スルモノハ既ニ西國ノ批准ヲ了シタル所ナリト雖モ第十三條約海戰ノ場合ニ關スルモノニ就テハ西班牙政府ハ海戰法規ニ關スル一九〇九年二月二十六日倫敦宣言ニ準據スヘシトシ未タ之ヲ批准スルニ至ラサルヲ以テ今回ノ戰爭ニ於テ交戰國ノ艦船カ西國港內ニ寄泊スルモノニ對シ目下一定ノ法規ヲ缺ケリ依テ西國政府ハ臨機ノ手段トシテ一九〇七年十月十八日海牙條約海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關スル規定ヲ實施セントスルモノナリ

右ニ就キ緊急必要ナル附屬規定ハ領海ノ範圍確定ニアリ尤モ右ノ領海範圍ハ現戰爭中海牙會議ノ條約ニ規定シアル海戰ノ場合ニ於ケル中立國タル西國ノ權利義務ニ關スル事ニノミ適用スルモノニシテ其ノ他ノ場合ニ於ケル我領海ノ範圍ニ就テハ素ヨリ西國政府ノ全ク自

由意志ニヨルモノトス

勅　令

閣議ニ諮詢シ且總理大臣ノ奏請ニヨリ朕ハ左ノ勅令ヲ發布ス

一　今回ノ戰亂ニ對シ西班牙國ニ於テ宣言セル中立ノ結果トシテ地方官タルト自治團體ノ公吏タルトニ論ナク政府當局者ノ言動及ヒ命令ハ海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關シ一九〇七年十月十八日海牙ニ於テ締結セル第十三協約ノ規定ニ則ルヘキモノナリ朕カ政府ハ平和克復ニ至ルマテ一時的措置トシテ右協約ニ贊同ス同協約條文ハ茲ニ之ヲ添付ス

二　如上ノ結果ニ對シ又現下ノ海戰ニ於テ中立國タル西班牙ノ權利義務ニ關スル諸種ノ事項ニ付キ中立國領海ト稱スルハ汀線及ヒ汀線ヨリ海上三浬ノ距離ニ假定汀線ノ平行線ノ間ニ於ケル區域ヲ指スモノナリ灣ノ兩側地ノ海洋ニ向テ最モ突出セル點間ノ距離十二浬以內ノ灣ニ於テハ前項ノ領海線ハ右ノ最モ突出セル點ヲ中心トシ三浬ヲ半經トシテ海洋ニ向テ劃セル圓ノ兩孤ニ共通スル切線ヲ指スモノナリ

三　總理大臣及外務、陸軍、海軍、大藏及內務ノ各大臣ハ此ノ勅令ノ施行ニ任ス

千九百十四年十一月二十三日宮城ニ於テ　アルフォンソ

內閣總理大臣　エドウワルド、ダト

（附屬書ハ海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關スル海牙條約ナルニ付畧之）

支那共和國法令

支那共和國法令

第一　輸出禁止品

○湖南米輸出禁止（二月三日官報）本件ニ關シ長沙駐在領事代理副領事深澤暹ヨリ一昨一日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（外務省）

一月二十八日ヲ以テ湖南米輸出ヲ禁止スル旨巡按使ヨリ一月三十日附照會アリ

○南京輸入禁止品（二月四日官報）本件ニ關シ同地駐在領事高橋新治ヨリ本月一日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（外務省）

南京税關長ハ總税務司ノ訓令ニ依リ爾今「ガンジヤ」(Ganja)（「ヘンプ」ヨリ製出シタル麻醉的調製物）ノ輸入ヲ禁止スル旨竝ニ「ハシツシユ」(Hashish)、「バング」(Bhang)及「カンナビン」(Cannabin)モ亦禁止中ニ包含セラル、旨一月三十日附ヲ以テ告知セリ

亞爾然丁國法令

亞爾然丁國法令

第一 中立法規

（在智利飯島臨時代理公使大正四年一月十四日附報告）

（譯文）

（一） 軍艦ニ變更スルコトアルヘキ外國商船ノ監視ニ關スル件

海軍省々令第一二六號

一九一四年八月六日

一、亞爾然丁共和國ガ局外中立ヲ宣言シ共和國領水ニ於テ敵對行爲ノ遂行ヲ防止シ中立規則ノ統一的適用ヲ期スルカ爲メ必要ナル一切ノ手段ヲ執ルコトハ共和國ノ義務ニシテ

一、一九〇七年十月十八日ノ海牙條約第八條ハ海上中立ニ關シ中立國政府ハ自巳ト平和關係ヲ有スル國ニ對シ巡邏ノ用ニ供シ又ハ敵對行爲ニ加ハルヘキモノト信スヘキ相當ノ理由アル一切ノ船舶カ其管轄内ニ於テ艤裝又ハ武裝スルコトヲ防止スル爲メ施シ得ヘキノ手段ヲ盡スコトヲ要スルコトヲ規定セル

事實ヲ考量シ

一、之レニ關スル當國大統領令ノ規定ヲ遵守シ

海軍大臣ハ左ノ通リ決定ス

第一、共和國ノ港及及領水ニ於テハ如何ナル外國商船ト雖トモ交戰國海軍ノ假裝巡洋艦ニ變更スル爲武裝又ハ艤裝スルヲ得ス

第二、交戰國一方ノ海軍ニ編成セル外國商船例ヘハ假裝巡洋艦ノ如キハ之レヲ軍艦ト見做シ中立規則ノ適用ヲ受ケシムヘキモノナルヲ以テ該船々長ハ入港後廿四時間以內ニ着港ノ事實ヲ鎭守府司令總部ニ申告スルヲ要ス

第三、「ラ、プラタ」(La Plata)河ニ於ケル外國商船ノ繋留所ハ「ボエノス、アイレス」及「ラ、プラタ」ノ泊地ニ局限セラルヘキコトヲ公示シ又交戰國ノ國旗ヲ揭クル船舶ノ間ニ於ケル一切ノ侵害行爲ヲ防止スル爲メ及ヒ商船ヲ假裝巡洋艦ニ變更スルコトニ關スル規定ノ遵守ヲ確保スル爲メ共和國ノ軍艦ヲ以テ其監視ヲナサシムヘシ

第四、右職務執行ノ際交戰國ノ國旗ヲ揭クル商船ニシテ假裝巡洋艦ニ變更セラル、コトアルヘキ船ノ出港取締ヲ便利ナラシムル爲メ出港順序設定ニ關シ適當ノ手段ヲ執ルヘシ

又本規定ノ遵守ヲ確保スル爲メ必要ト認ムル場合ニハ右航行區域內ノ巡視ヲ勵行シ又出港ノ船舶カ公海上ニ達スル迄之レニ共和國軍艦一隻ヲ隨伴セシムルコトアルヘシ

右通牒、施行及登記ノ手續ヲ了スヘシ

サエンス、ヴアリエンテ(記名)

(二)　局外中立規定ノ遵守ニ關スル施行手續補足ニ關スル件

海軍省々令第一三三號

一九一四年八月十七日

一、一九一四年八月六日附本省々令第一二六號ヲ以テ公布シタル歐羅巴現時ノ戰爭ニ對シ局外中立規定ノ遵守ニ關スル施行手續ヲ補足スル必要ヲ認メ

海軍大臣ハ左ノ通リ決定ス

第一條、曩キニ規定セル省令ノ施行ニ當ルヘキ海軍部員ハ右規定ノ外次ニ揭クル命令ヲ遵守スヘシ

(イ、)外國商船ニシテ公然其所屬國海軍ノ假裝巡洋艦タルモノハ中立規則施行上之レヲ軍艦ト見做シ取扱フヘシ

商船ヲ假裝巡洋艦ト見做スニハ一九〇七年十月十八日ノ商船ヲ軍艦ニ變更スルコトニ關スル條約第一條、第二條、第三條及第四條ノ規定ニ該當スルヲ必要條件トス

(ロ、)我領水ニ於ケル共和國ノ權利ヲ擁護スル爲メ右領水ニ於テ交戰國ノ國旗ヲ揭クル船舶相互間ニ於ケル一切ノ敵對行爲ヲ禁止ス而シテ之レヲ防止スル爲官憲ハ必要ナル措置ヲ執ルヘシ

(ハ、)外國商船ニシテ假裝巡洋艦タルノ公然ノ申告ナクシテ自巳防禦ノ爲メ大砲ヲ有スル

モノハ我領水内ニ於テ之カ使用ヲ禁止ス而シテ右船舶カ假裝巡洋艦ノ役務ニ服シ再ヒ我領水ニ來リタル場合ニ於テハ政府ハ之レヲ軍艦トシテ取扱フコトノ權利ヲ留保スヘシ右船舶カ軍艦タル法規上ノ條件ヲ具備セサルモ其我領水ニ於テ行ヒタル凡テノ敵對行爲ハ共和國法律ニ依リ有罪ト見做サルヘシ

（ニ、）鎭守府司令總部ハ外國商船ニ防禦用ノ爲裝置シ又ハ裝置セサル大砲ノ有無及其大砲ノ位置ヲ取調ヘ之レニ對シ特別ノ監視ヲナスヘシ

（ホ、）大砲ヲ有スル外國商船中ニハ之レヲ舳部ノミニ裝置シ射擊口狹隘ノ爲メ全然之ヲ船體内ニ置クモノアリ右大砲ハ自巳防禦用ノ目的ノミニ使用スルモノト見做シ得ルモ之レヲ船首ノ兩舷部即チ攻擊狀態ニ置クモノニ至リテハ假令其等船舶ハ假裝巡洋艦ト見做スヘキ條件ヲ具備セサルトスルモ其武裝ハ戰鬪ノ目的ヲ有スルコト明瞭ナルヲ以テ右船舶ニ對シテハ一層監視ヲ嚴密ナラシムヘシ

（ヘ、）首府及「ラ、プラタ」港務規則第卅一條ノ規定ニ依レハ爆發物ヲ搭載セル船舶ハ右兩港ニ入港スルヲ得ス故ニ大砲ヲ裝置セル商船ニシテ彈藥ヲ搭載スルモノハ入港前右彈藥ノ積卸ヲ爲スニ非レハ入港スルコトヲ得ス

（ト、）鎭守府司令總部ハ交戰國一方ノ國旗ヲ揭クル武裝セル又ハ武裝セサル商船カ共和國ノ一港ヨリ出港シタルトキハ之レヨリ廿四時間以内ニ於テ同一港ヨリ交戰國ノ他方ニ屬スル軍艦假裝巡洋艦又ハ單ニ大砲ヲ裝置セル商船ノ出港ヲ防止スル爲メ適宜ノ手段ヲ執ルヘシ

（チ、）到着後廿四時間以内ニ領水ヲ退去スヘキ義務アル交戰國々旗ヲ揭クル軍艦及假裝巡洋艦ハ不可抗力ノ場合ノ外領水内ニ碇泊スルコトヲ得ス大砲ヲ裝置セル商船ニシテ假裝巡洋艦ニ變更スヘキ嫌疑アルモノ、領水内ニ碇泊スルトキハ其入港カ敵對行爲ノ目的ニ在ルヤ否ヲ監視シ出港順序ニ關スル官憲ノ注意ヲ無視セサラシムルコトニ努ムヘシ

第二條、右通牒、施行及登記ノ手續ヲ了スヘシ

サエンス、ヴアリエンテ手記、

（三）　交戰國船舶ノ無線電信使用取締ニ關スル件

海軍省々令第一三五號

一九一四年八月十九日

一、歐羅巴諸國間ニ戰爭狀態繼續中最モ嚴正ナル中立ノ支持ヲ保障スル目的ヲ以テ

海軍大臣ハ左ノ通リ決定ス

第一、交戰國ノ船舶カ我領水ニ在ル期間中救助ヲ求メ又ハ之レニ應スル場合ノ外其有スル無線電信機ヲ通信用ニ使用スルコトヲ禁ス

第二、鎭守府司令總部ハ本規定ノ施行ヲ確實ナラシムル爲適宜ノ手段ヲ執ルヘシ

第三、右通牒施行及登記ノ手續ヲ了スヘシ

サエンス、ヴアリエンテ手記、

海軍省々令第一六七號

一九一四年十月二日

一、本年八月十九日海軍省々令第一三五號規定ノ補足トシテ

海軍大臣ハ左ノ通リ決定ス

第一、共和國領水ニ來ル一切ノ船舶カ其退去迄ノ期間遵守スヘキ現行ノ規定ニ拘ラス交戰國ノ船舶ハ右期間中其設置セル無線電信感應針ヲ取外シ及ヒ其電信局ヲ閉鎖スヘシ

第二、鎭守府司令總部ハ本規定施行上適宜ノ手段ヲ執ルヘシ

第三、右通牒施行及登記ノ手續ヲ了スヘシ

サエンス、ヴアリエンテ手記、

海軍省々令第二〇一號

一九一四年十一月八日

海軍大臣ハ左ノ通リ決定ス

第一、本年海軍省々令第一六七號ノ規定ハ何等ノ例外ヲ設ケズ一切ノ船舶カ其共和國ノ港ニ到着ノ時ヨリ碇泊ノ期間中凡テ適用セラルヘキモノトス

第二、右通牒施行及登記ノ手續ヲ了スヘシ

サエンス、ヴアリエンテ手記、

大統領令第二一四號

一九一四年十二月九日

一、共和國々籍ヲ有スル汽船ニシテ現ニ南部沿岸ヲ航行スル「プレシデンテ、キンタナ」(Presidente Quintana) 號ニハ其船員名簿ニモ旅客名簿ニモ記入ナク只該船管理者ノ承諾ヲ以テ乘組メル無線電信技師二名アリ專ラ該船ノ無線電信機ノ直接且間斷ナキ管理ニ當リ居リ船員名簿ニ記入アル亞國々籍ヲ有スル技師ハ該船所屬會社ノ有スル一切ノ無線電信設置及經營者タル獨逸「テレフンケン」會社ヨリノ命令ニヨリ却テ其職務ニ干與スルコトヲ許サレザル事實ト之レニ關シテ得タル充分ナル證憑トヲ擧示セル鎭守府司令總部ヨリノ通牒ニ基キ

一、又同會社所屬瀛船「カボ、コリエンテス」(Cabo Corrientes) 號ノ無線電信局ヨリハ目下不明ナル地點若クハ船舶内ニ電信局ニ設置スル爲メ全部ヲ組立テ、一電信局ヲ設クルニ足ル機械ヲ取外シ然モ同船員ノ言ニ依レハ右ハ修繕ノ爲獨逸國ヘ送致セラレタリト云フモ其故意ニ之レヲ取外シタルハ掩フヘカラサルコト

一、前揭二船舶ハ共和國ノ國籍ヲ有スルモノナレトモ外國資本ヨリ成ル會社ニ所屬シ其會社ノ幹部ハ交戰國ノ一方ニ住所ヲ有シ其船舶ノ一部ハ亞爾然丁國ニ歸化セル前揭國々民タル船長ニヨリテ運轉セラレツヽアリ

一、右會社ト同樣ノ狀態ニ在ル航海會社及自由船舶(會社ニ所屬セズ單獨ニ營業航行スル

モノ」）ノ存在アリ此等船舶ニハ前掲「プレシデンテ、キンタナ」及「カボ、コリエンテス」ニ起リタル如キ不規則及違反行爲ヲ見サルモ尙ホ

下記ノ諸項ヲ考量シ

第一、前掲ノ事實ヨリ亞爾然丁國ノ國旗ヲ掲クル船舶ニ設置セル無線電信機カ戰爭ノ狀態ニ在ル諸國ノ爲情報轉達ノ用途ニ供セラレ南太西洋ヲ航行スル交戰國船舶ハ之ニヨリ情報ヲ接受シ又ハ之レニ情報ヲ送致シツヽアルコトノ正當ナル嫌疑アルコトヲ推定シ得ルコト

第二、右船舶ノ設置セル無線電信機ハ共和國ノ無線電信機關ノ一部ヲ構成シ且之ヲ完成スルモノナルヲ以テ縱令ヒ其不正ノ使用ヲ以テ亞爾然丁國政府ノ威嚴及公平ヲ危フスル虞アリトスルモ蓋シ同機ノ裝置ハ航海及旅客ノ安全ヲ期スル爲共和國法律カ所要スルモノナルヲ以テ之レヲ船舶內ヨリ除却スルヲ得ス然ルニ

右等ノ行爲ハ又一方ニ於テ吾友邦トノ親善ナル友誼ニ干係ヲ及ボス虞ナキヲ得ス此ニ於テ吾宣言セル中立ノ精神ヲ考量シ

亞爾然丁共和國大統領ハ

左ノ件ヲ定ム

第一、海軍大臣ハ亞爾然丁國ノ國旗ヲ掲ケ共和國ノ沿岸貿易又ハ「ラ、プラタ」河（Rio de la Plata）ノ航行ニ從事スル一切ノ船舶ニ其無線電信局ヲ閉鎖スルコトヲ命スヘシ右無線電信局ハ正當ニ任命セラレタル鎭守府司令總部及其支部ノ官吏ノ立會フ場合ニ於テノミ開局セラルヘク其開局シタル原因ノ止ムトキ直チニ同樣ノ形式ニ於テ閉鎖セラルベシ、航行中切迫セル危險ニ會シ救助ヲ求ムル場合ニノミ限リ前官吏ノ立會ナクシテ開局スルコトヲ得此場合ニハ該船舶ノ船長ハ最近ノ鎭守府支部ニ其理由ヲ通知シ同處ニテ再ヒ之レヲ閉鎖スヘシ

第二、右船舶ニ乘込ム無線電信技師ハ亞爾然丁國國籍ヲ有スルモノタルヘク而シテ今後鎭守府司令總部ニ備ヘラルヘキ登記簿ニ其職務氏名ヲ登記スヘシ右技師ハ水先案內ト同樣海軍官憲ニ當然管屬スルモノトシテ取扱ハルヘシ

第三、無線電信技師ハ其搭乘セル船舶カ各港ニ入港セル場合ニハ直チニ其地海軍官憲ノ許ニ出頭シ航行中其取扱ヒタル通信ニ關スル事項ハ陸上局ト爲シタルト他ノ船舶ト爲シタルトニ拘ラス其船內局ノ開局中發送又ハ接受シタル電文ノ正當ナル謄本ヲ提出スヘシ右海軍官憲ハ其謄本ヲ最近便ニテ鎭守府司令總部ニ送致スヘシ

右技師ハ船內ニ於テ不正行爲違反行爲又ハ犯罪行爲アリタル場合ニハ海軍官憲ノ參與ニ便ナラシムル爲メ之レヲ該官憲ニ通報スヘシ

第四、本令違反ノ行爲ハ初犯ニ於テハ亞貨（紙幣）壹千ペソノ料金ニ處シ而シテ其船長ノ免許ヲ取消スヘシ而シテ再犯ノ場合ニハ共和國々旗ノ使用ヲ禁スヘシ若シ右違反行爲カ共和國ノ參加セル國際協約及條約ニ違反セルモノナルトキハ之レヲ檢事局ニ移牒シ法律第四九號第八條規定ノ刑事々項ニ依リ處斷セシムヘシ

第五、海軍大臣ハ必要ト認ムル場合ニハ無線電信局ヲ有スル一切ノ共和國商船カ出港スルニ當リ監督官ノ資格ニ於テ海軍士官一名ヲ乘込マシムヘシ右士官ハ該船航行中船內ニ留ル

へシ而シテ右船ノ所屬セル會社ハ其負擔ヲ以テ之レニ船室及食事ヲ給與スルコトヲ要ス

第六、右通牒ハ施行及登記ノ手續ヲ了スヘシ

デ、ラ、プラサ手記、
サエンス、ヴアリエンテ同、

（四）交戰國商船ニ燃料供給制限ニ關スル件

大統領令第一六九號
一九一四年十月十四日

一、亞爾然丁國ノ港カ交戰者ニヨリ其作戰上軍需品供給ノ根據地トシテ利用セラレサルコトヲ可成的保障スル目的ヲ以テ而シテ

一、海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利及義務ニ關スル海牙條約カ其第五條ニ於テ中立港及領水ハ交戰者ニヨリ海軍作戰根據地トシテ利用スヘカラサルコトヲ規定セルコト

一、同條約ハ商船ニ燃料及糧食ノ供給ヲ禁セサルコト

一、前二條ノ主義ヲ中立ノ支持ト矛盾スルカ如キ結果ニ到達セサラシムル形式ニ調和スルニハ商船ヲシテ普通ノ行程ニ依リ航行スル場合ニ自巳ノ消費燃料トシテ必要ナル數量ニノミ限リテ之レカ供給ヲ許シ其以前海上ニ於テ他船ニ其搭載燃料ヲ轉載セシメ得ヘキ過剩ノ數量ノ搭載ヲ一切禁止スルノ必要アルコト

一、右制限設定ノ爲メ各船舶ノ有スル水炭食料品艙ノ容積ト其噸數及其載貨容積トヲ參酌シ各自ニ許與スヘキ數量ヲ定ムル一般規則ヲ設定セハ航海及通商上ノ利益ヲ毀損セス、又亞爾然丁共和國カ宣言セル中立ノ主旨ニ背反スル行爲ヲ防止シ得ヘキコトノ

事實ヲ考量シ

亞爾然丁共和國大統領ハ

左ノ件ヲ定ム

第一、亞爾然丁國ノ港ニ在ル交戰國ノ國旗ヲ揭クル商船ニハ其石炭艙ノ容積ヲ超過スル數量ノ石炭ノ積載ヲ禁ス、豫備艙、一般貨物艙及中甲板ニハ如何ナル燃料ヲモ積込ムコトヲ得ス

第二、稅關官吏カ交戰國ノ國旗ヲ揭クル船舶ニ燃料積込ノ許可ヲ與ヘタルトキハ其旨ヲ鎭守府司令總部ニ通知シ本規定第一條ノ遵守ヲ勵行シ必要ノ場合ニハ其出港ヲ差止ムヘシ

第三、右通牒施行及登記ノ手續ヲ了スヘシ

デ、ラ、プラサ手記、
サエンス、ヴアリエンテ同、

（五）外國電信ニ秘密語ノ使用ヲ禁スル件

廻章第五二號
一九一四年八月十八日

亞爾然丁國政府ハ電信條約第八條及無線電信條約第十七條ノ規定ニ從ヒ外國電信ニ秘密語

ノ使用ヲ禁止スルコトニ決定シタルニ付キ西班牙語、獨乙語、佛蘭西語、英吉利語、伊太利語又ハ葡萄牙語ヲ以テ作成セル解讀シ易キ文体ノ電文ニシテ其發信人ノ完全ナル記名アルモノニ限リ之レヲ受理スヘシ而シテ右電文ハ發信人ノ危險ニテ送致セラルヽモノトス右海軍部内ニ通知ス

但シ各國政府ノ發受スル電文ハ本規定ヨリ除外セラルヽモノトス

海軍經理局長　ドメツク、ガルシヤ手記、

伯刺西爾國法令

伯剌西爾國法令

（大正三年十一月十日附畑全權公使報告）

第一　中立規定

（一）　諸外國間戰爭ノ場合ニ於ケル伯國ノ局外中立準則ヲ設定スル官令

（千九百十四年八月四日官令第一一、〇三七號）

伯剌西爾合衆共和國大統領ハ諸外國間戰爭ノ場合ニ於テ伯國ノ局外中立ヲ擁護スル爲メ聯邦府、聯邦諸洲アクレ聯邦直轄州ニ於テ遵守スヘキ準則幷ニ交戰國ノ軍艦及商船ニ對シテ執ルヘキ處置ニ關シテ規定ヲ設クルヲ適當ナリトシ聯邦政府カ施行ヲ命スルトキハ別紙外務省發布ニ係ル布告中ニ記載セル法則ヲ嚴重ニ履行スヘキコトヲ決定ス

千九百十四年獨立第九十三年共和第二十六年八月四日リオ、デ、ジヤネイロニ於テ

エルメス、ロドリーゲス、ダ、フオンセカ（大統領親署）

フレデリコ、アツフオンソ、デ、カルヴリヨ（臨時外務卿副署）

別紙布告

局外中立準則

第一條　伯剌西爾合衆國在住者ハ内外人共ニ交戰國ノ爲メニ何等ノ參加若クハ幇助ヲ爲ス

コトヲ差控ユヘク且ツ戰爭中ナル一國ニ對シ敵對行爲ト見做サルヽ如キ一切ノ行動ヲ爲ス可ラス

第二條　交戰國カ其陸海軍ニ服役セシムル爲メ伯剌西爾ニ於テ自國人伯國人若クハ他外國人ノ徵募ヲ企行スルコトハ之ヲ許サス

第三條　伯剌西爾政府ハ共和國ノ諸港ニ於テ私掠船ノ準備若クハ艤裝ヲ爲スコトニ同意セス

第四條　伯剌西爾國若クハ他國ノ國旗ノ下ニ伯國諸港ヨリ交戰國中何レカノ諸港ニ向ケ軍用品ヲ輸出スルコトハ之ヲ嚴禁ス

第五條　聯邦諸州及其官公吏カ交戰國タル一國又ハ數國ニ向ケ何等カノ戰用物ヲ直接又ハ間接ニ輸出シ若クハ之カ送致ニ助力スルコトハ之ヲ禁ス

第六條　交戰國カ伯剌西爾合衆國ノ沿岸及領水ヲ其敵國ニ對スル海軍根據地トナスコトハ之ヲ禁シ尙ホ戰地ニ於ケル交戰軍隊トノ通信用ニ供スル無線電信浮動局(譯註、即チ船內局)ヲ伯國領水內ニ設置スルコトモ之ヲ禁制ス

第七條　若シ戰地若クハ交戰諸國中ノ一國ノ海港カ二十三浬ノ速力ニテ計算シ伯剌西爾合衆國ヨリ航程十二日以下ナル時ハ他ノ一交戰國又ハ數交戰國ノ武裝セル艦船ハ捕獲シタル船舶ヲ卒フルト否トヲ問ハス避難入港ノ場合ヲ除キ總テ二十四時間以上伯國ノ港灣及碇泊地ニ滯泊スルコトヲ得ス

「避難入港ノ場合ヲ除キ」ト云ヘル語句ハ軍艦若クハ私掠船カ左記ノ場合ニ於テ二十四時間以內ニ出港スル義務ナキヲ謂フモノト解釋ス

第一、難破ノ危險ナク航海スル爲メ欠クヘカラサル修繕ヲ實行スル能ハサルトキ

第二、天候險悪ノ爲メ難破ノ危險アルトキ

第三、避難港附近ヲ巡航シツヽアル敵ニ追蹤若クハ脅迫セラレ二十四時間以內ニ出港スルコト能ハサルトキ

以上三個ノ場合ニ於テ事情ニ應シ艦船ノ延滯期ヲ定ムルハ聯邦政府ノ所決ニ依ル

第八條　若シ一交戰國ノ一隻若クハ數隻ノ軍艦カ敵國沿海ノ或ル地點ニ達シ得ヘキ航行時間十二日間以上ナルトキハ伯國ノ港若クハ領水ニ於ケル碇泊寄港時間ハ軍艦カ單ニ一隻ナルカ又ハ數隻ニシテ大小艦隊ヲ組織セルカニヨリ其事情ニ應シテ聯邦政府之ヲ定ムヘシ

但シ交戰國中ノ孰レカノ大小艦隊ニシテ艦艇三隻以上ヨリ成ルモノヽ碇泊時間ハ伯國沿岸ノ水上ニ於テハ十二日ヲ超ユルコトヲ得ス

第九條　伯國諸港ト首要戰地間若クハ伯剌西爾合衆國諸港ト交戰國中ノ一國ノ諸港間ノ距離如何ニ拘ラス交戰國ノ孰レカノ認許狀ヲ有スル私掠船ニ對シテハ二十四時間以上伯國ノ諸港若クハ領水ニ進入又ハ滯在スルヲ許サス、但シ第七條ニ規定セル三個ノ場合ヲ除ク

第十條　伯國沿岸ノ諸港、泊地及水上ニ於ケル碇泊制限ニ關スル第七條及第八條ノ定則ハ全然學術、宗敎、若クハ博愛ノ任務ニ從事セル軍艦及病院船ニハ之ヲ適用セス

第十一條　捕獲及臨檢搜索權ノ行使ヲモ含メル有ラユル敵對行爲ニシテ交戰國艦船カ伯國

領水内ニ於テ行フモノハ共和國ノ中立及主權ヲ侵害スルモノトス
聯邦政府ハ若シ捕獲セラレタル當該船舶カ既ニ遠ク伯國領水ヲ離レ而シテ聯邦政府ニ於テ其海軍力ヲ使用スルモ最早該不當行爲ヲ拒止スル能ハサル場合ニハ交戰國政府ニ對シ適當ナル滿足ヲ與ヘンコトヲ求ムル外尙其捕獲セラレタル船舶ヲ其乘組士官、水兵若クハ船員ト共ニ解放セシメンコトヲ請求スヘシ

第十二條　聯邦政府ハ宣戰ノ布告アリタル後交戰國中ノ一國ニ對シテ敵對行爲ヲ爲サンカ爲メ巡邏シ又ハ之ニ參加セレトスルノ目的ヲ有スト信スルニ足ルヘキ正當ノ理由アル有ラユル船舶ノ艤裝若クハ武裝ヲ制止スル爲メ其權限ニ屬スル措置ヲ講スヘシ。尙ホ聯邦政府ハ敵對行爲ノ爲メ巡邏シ又ハ之ニ參加スル目的ヲ有シ若クハ伯國領水ニ於テ全部若クハ一部ヲ戰爭用ニ改裝シタル有ラユル船舶カ伯國領域ヨリ出發スルヲ制止スル爲メ監視ヲ行フヘシ

第十三條　伯剌西爾合衆國ノ諸港及泊地ニ於テ交戰國ノ軍艦ハ何等ノ戰鬪力ヲ增加セサル限リ其蒙リタル破損ヲ航海ノ安全ニ欠クヘカラサル程度ニ於テ單ニ修理スルコトヲ得ヘシ
伯國海軍官憲ハ其ノ行フヘキ修繕ノ性質ヲ檢査スヘク而シテ該修繕ハ出來得ル限リ迅速ニ行フコトヲ要ス

第十四條　前條ニ謂フ所ノ船舶ハ伯國ノ諸港及泊地ニ於テ左記ノ需用積込ノミヲ行フコトヲ得ヘシ
第一、平時ニ於ケル糧食定量ノ不足ヲ補充スル爲メ
第二、自國最近港ニ到達スルコトヲ得ルニ足ル燃料ヲ積入ルヽ爲メ若クハ嚴正ノ意味ニ於ケル燃料艙ノ全容積ヲ補充スルタメ

第十五條　伯國港ニ於テ燃料ヲ積入ルヽ交戰國ノ軍艦ハ三ケ月以上ニアラサレハ同一港若ハ伯國ノ他ノ港ニ於テ再ヒ之カ積入ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條　交戰國ノ船舶ハ其軍用品若クハ其武裝ヲ增加スル爲メ若クハ其乘組水兵ヲ補充スル爲メニ伯國ノ諸港泊地及領水ヲ利用スルコトヲ得ス
但シ内國水先案内人ノ任務ヲ利用スルコトヲ得

第十七條　交戰國ノ軍艦及其ノ捕獲シタル船舶カ單ニ伯國領水ヲ通過スルコトハ伯國ノ中立ヲ侵犯スルモノト見做サス

第十八條　交戰國双方ノ軍艦カ同時ニ伯國ノ港又ハ泊地ニ同居スル場合ニ於テ若シ双方共ニ蒸汽力ノモノナル時ハ一艦ノ出港ト敵艦ノ出港トノ間ニハ少クモ二十四時間ヲ隔ツルコトヲ要ス
若シ出港スル方帆前ニシテ殘留セル方蒸汽ナルトキハ後者ハ三日後ニアラサレハ出港スルコトヲ得ス
蒸汽力ヲ使用セル船舶ノ出港順序ハ入港順ニヨリ之ヲ定ム但シ最初入港シタル方カ滯泊時間延長ヲ許サルヘキモノナルトキハ此限ニアラス
交戰國ノ軍艦ハ其敵國ノ國旗ヲ揭揚セル商船ノ出港後該商船カ帆船ナルカ又ハ汽船ナル

カニ從ヒ夫々前記ノ期間ヲ經過スルニアラサレハ其碇泊セル伯國港ヨリ離去スルコトヲ得ス

第十九條　當該地方官憲ノ通告アルニ拘ラス若シ交戰國ノ軍艦カ引繼キ之ニ碇泊スル權利ナキ伯國港ヲ離去セサル時ハ聯邦政府ハ戰爭繼續中該軍艦ノ出港ヲ不可能ナラシムル爲メ其ノ適當ト認ムル措置ヲ執ルヘシ

(a)　千九百七年十月十七日海牙聯合條約第十三（譯註。海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關スル條約ヲ指スモノニシテ十月十七日ハ十月十八日ノ誤ナラン）ヲ批准シ若クハ之ニ加盟シタル國ノ國旗ヲ揭揚セル軍艦ノ艦長ハ此等措置ノ執行ヲ容易ナラシムル義務アルモノトス

(b)　若シ交戰國軍艦ノ艦長カ通告ヲ受ケタル上同意シカタキ何等カノ理由ニ依ルカ若クハ前記海牙聯合條約第十三中ノ該規定又ハ其他ノ條項ニ約束セラレサル國ニ屬スルノ故ヲ以テ該通告ヲ遵守スルヲ欲セサル時ハ聯邦政府ハ伯國ノ局外中立ヲ侵サレサランカ爲メ其海陸軍官憲ニ向ツテ强力ノ使用ヲ命スヘシ

(c)　交戰國軍艦カ伯國內ニ抑留セラレタル時ハ其乘組士官及水兵モ同樣ニ抑留セラルヘシ

(d)　斯クシテ抑留セラレタル士官及水兵ハ他ノ船舶內又ハ陸上ニ宿泊スルコトヲ得ヘク又之ニ必要ト認ムル制限的手段ヲ加フルコトヲ得、尙ホ其軍艦中ニハ之カ保存ニ必要ナル人員ヲ殘留セシムヘシ、士官ハ伯國內ニ於テ指定セラレタル土地以外ニ海軍卿ノ許可ナクシテ離去セサル旨ヲ書面ヲ以テ誓約スルトキハ之ニ自由ヲ與フルコトヲ得

第二十條　一交戰國カ捕獲シタル船舶ハ航行不能海上險惡燃料欠乏若クハ糧食欠乏ノ理由及左記第二十一條ニ規定セル場合ニ限リ伯國ノ一港ニ之ヲ引致スルコトヲ得ヘシ

捕獲セラレタル船舶ハ其入港ノ原因トナリタル事故止ミタルトキハ直ニ出港スルコトヲ要ス若シ出港セサルトキハ伯國官憲ハ捕獲船ノ船長ニ向ツテ即時ニ出港スヘキ旨ノ命令ヲ通告シ而シテ尙ホ直ニ之ニ從ハサル場合ニハ其士官及乘組員ト併セテ被捕獲船ヲ解放スル爲メ及捕獲者カ船中ニ乘込マシメタル水兵ヲ留置スル爲メ其執リ得ヘキ措置ヲ講スヘシ

尙ホ本條ノ初メニ定メタル四條件ニ依ラスシテ伯國港ニ入港シタル被捕獲船モ同樣解放セラルヘシ

第二十一條　當該捕獲審檢所ノ檢定アルマテ拘置スル爲メ引致セルモノナルトキハ其護送セラル、ト否トヲ問ハス伯國港ニ入港スルコトヲ許サルヘシ

捕獲セラレタル船ハ地方官憲ノ命令ヲ以テ之ヲ他ノ伯國港ニ移サシムルコトヲ得ヘシ

若シ捕獲セラレタル軍艦ニ曳引セラル、場合ニハ捕獲者カ其船中ニ乘込マシメタル士官及護衛ハ軍艦ニ轉乘スルコトヲ得ヘシ

若シ捕獲セラレタル船カ單獨ニ航行スル場合ニハ捕獲者カ其船中ニ乘込マシメタル艦員ハ自由ニ任スヘシ

第二十二條　敵ニ追蹤セラレ而シテ危急ニ逼レル攻擊ヲ避ケンカ爲メ伯國港ニ避難スル交

戰國軍艦ハ其武裝ヲ解除スルマテ之ヲ抑留スヘシ但シ若シ其艦長カ再ヒ當該戰爭ニ參加セサル旨ヲ約スルニ於テハ其出港ヲ許可スヘシ

第二十三條　捕獲國ノ當該捕獲審檢所ニ於テ捕獲ノ有效ナルコトヲ認ムル迄ハ伯國ニ於テ被捕獲船ヲ賣却スルコトヲ得ス

第二十四條　修繕ヲナシ若クハ食料及燃料ヲ積入ルヽ爲伯國港ニ入港スル交戰國中ノ孰レカノ海軍力及軍艦ノ司令官ニ對シテハ其敵國ノ國旗ヲ揭揚セル商船カ伯國港ニ於テ貨物ヲ搭載シテ出港スルカ又ハ伯國港ニ仕向ケタル載荷ノ目錄ヲ携帶セル時ハ假令伯國領水ト雖モグリーン井ツチ西經三十度以西竝ニ北緯四度三十分ヨリ南緯三十度ニ至ル間ニ於テ遭遇スル場合ニハ此等商船ヲ捕獲セサル旨ノ宣言書ヲ請求スヘシ（本條ハ千九百十四年十月十四日官令第一一、二〇九號Ａヲ以テ之ヲ廢止ス、――十一月十三日官報。）

第二十五條　凡テ交戰國カ其使用ノ爲メ何レカノ國ノ船舶ニテ直接齎ラシタル物品ヲ伯國諸港ニ於テ積入ルヽコトハ交戰國艦船カ豫想セサリシ必要ニ迫ラレタルニアラスシテ却テ其沿岸附近ヲ巡邏スルノ目的ヲ以テ伯國港ニ到來シタルモノト見做スヘキモノナルカ故ニ之ヲ許サス

第二十六條　伯國諸港及泊地ニ入ルコトヲ許サレタル交戰國ノ艦船ハ同所ニ他ノ交戰國ノ軍艦若クハ武裝船カ碇泊セル場合ト雖モ地方官憲カ指定シタル地點ニ於テ凡テノ艦船ニ對シテモ全然靜穩且ツ平和ニ滯泊スルコトヲ要ス

第二十七條　陸海軍、稅關監視部及警察ノ諸官憲ハ前記規定ノ何レカカ共和國ノ諸港及領水ニ於テ犯サルヽヲ防止スル爲メ十分ニ監督ヲナスヘシ

千九百十四年八月四日

リオ、デ、ジヤネイロ、外務省ニ於テ

フレデリコ、アツフオンソ、カルヴリヨ

（二）本年八月四日官令第一一、〇三七號局外中立準則中商船ニ關スル規定ヲ補足シ且同令第二十二條後段ヲ廢止スル官令

（千九百十四年九月九日官令第一一、一四一號）

伯剌西爾合衆共和國大統領ハ去ル八月四日ノ官令第一一、〇三七號ニ左記ノ準則ヲ挿加スルコトヲ決定ス

第一條　凡ヘテ商船ハ當該國領事館ニ於テ其寄泊港及目的港ヲ指示シ且該船舶カ單ニ商業上ノ目的ノミヲ以テ航行スルモノナルコトヲ保證スルニアラサレハ伯國諸港ヨリ出港スルコトヲ得ス

第二條　伯國港ヨリ既ニ出港シタルカ又ハ今後出港スルコトアルヘキ一切ノ商船ニシテ其航行ニ要シタル時間若クハ其執リタル針路ニ照ラシ商港タル寄泊港若クハ目的港ニ直行シタルモノニアラサルコト判明シタルモノカ伯國諸港ニ寄航シタル場合ニハ伯國官憲ハ之ヲ抑留スヘク且自國艦隊ノ一部ヲ構成スルモノト見做シ之ニ千九百十四年八月四日官

令第一一、〇三七號ノ規定ヲ遵守セシムヘシ

第三條　去ル八月四日官令第一一、〇三七號ノ準則中第二十二條末段ハ之ヲ廢止ス

千九百十四年即チ獨立第九十三年共和第二十六年九月九日

リオ、デ、ジヤネイロニ於テ

エルメス、ロドリーゲス、フオンセカ（大統領親署）

ラウロ、ミユルレル（外務卿副署）

（三）布達

（イ）領海ノ範圍ニ關スル決定

伯國政府ハ現戰爭中局外中立ノ効果ノ爲メニハ當該部ニ於テ確定的法則ヲ制定スルマテノ間領土管轄區域ニ關シ伯國領海ノ範圍ニ就テハ從來伯國政府カ主義トシテ採用シ來レル三海浬ノ距離ヲ依然襲踏スルコトニ決定布告シ千九百十四年八月二十五日附ヲ以テ外務卿ヨリ各外國使臣ヘ通牒セリ

（ロ）無線電信使用禁止ニ關スル決定

伯國ノ港及領水内ニ碇泊セル交戰國ノ商船ニシテ自國軍艦ト通信スル爲メ該商船備付ノ無線電信機ヲ使用シ以テ伯國政府ノ局外中立規定幷ニ其始終與ヘツヽアル注意ニ背反スルモノ引續キ絶ヘサルニヨリ伯國政府ハ總ヘテノ交戰國商船ニ適用セラルヘキ一般的手段トシテ此等船舶カ四十八時間以上伯國港ニ滯泊スル場合ニハ無線電信機ノ帆桁（レテイシヤード）ヲ引卸スヘキ旨ヲ當該船長ニ通告シ且ツ其必要アル時ハ船長ヲシテ該通告ニ服從セシムヘシトノ命令ヲ海軍官憲ニ發スルコトニ決定シ尚ホ此伯國港内ニ於ケル無線電信使用禁止ニ關シ各港長ハ伯國政府ノ命令ヲ遵守セシムル爲メ必要ナル一切ノ手段ヲ執ルノ權能ヲ附與セラレタリ

（ハ）伯國ニ於テ航行ヲ中斷シタル交戰國商船取締ニ關スル決定

伯國聯邦政府ハ伯國ノ局外中立ヲ確守スル爲メ交戰國所屬ノ商船ニシテ既ニ伯國諸港ニ入港シタルカ若クハ今後之ニ入港シ而シテ其航海ヲ繼續セサランカ爲メ歐洲戰爭ノ形勢ニ基因スル不可抗力ヲ理由トシテ乘客又ハ載荷ヲ陸揚スルモノハ當該港々長カ海軍省ノ認可ヲ經且其他現行法規ニ從ヒテ與フル特別許可狀ヲ得タル場合ノ外出港ヲ禁制セラレタルモノト認ムト決定セリ

（ニ）日曜日及國祭日ニ入港スル交戰國軍艦ノ碇泊期間延長ニ關スル規定

（大正四年一月二十七日着畑公使電報）

伯國政府ハ日曜日及國祭日ニ入港スル交戰國軍艦ニ對シ平日ノ二十四時間ニ匹敵スル丈碇泊時間ノ延長ヲ許ス旨通知アリ

第二　伯國政府カ中立嚴守ノ為メ採リタル處置ニ關スル外務卿ノ通牒文（譯文）

（大正四年一月十二日附報告）

以書束致啓上候陳者現戰亂ニ於ケル伯國ノ中立ヲ維持スル為ニ採リタル手段ハ外國臣民カ既定ノ中立規程及之ニ基キテ發セラレタル伯國官憲ノ命令ヲ依然遵重セサリシ為メ其實施上支障ヲ來シ而シテ右命令不遵ノ固執ハ商船カ最初ハ不法ニモ原則ニ違反シ若クハ誓言ヲ破リ遂ニハ現行命令ヲ明白ニ無視シテ伯國領水ニ於テ無線電信秘密使用及命令違背ヲ為シタル點ニ於テ特ニ其度ヲ高メ最近商船 Holzer 號ガ命令ヲ無視シテ早曉「レシフヱ」港ヨリ出港シタル事實現出致候

伯國政府ハ欺瞞的方法ヲ以テ其監視ヲ破リタル違反行為ヲ遮止セサリシ自國官憲ニ關シテ斷ヘス處置ヲ講シ最近ノ事件（譯註「ホルツヱル」號遁出）ニ於テハ所管省ヲ經由シテ單ニ其責任者ヲ罷免シテ當該任務ノ執行ヨリ遠ケタルノミナラス其責任ヲ明カニスル為メ之ヲ審問ニ附スヘキ旨命令致候

無線電信局ニ於テモ特別ノ處置ヲ講シ長距離ニ亘ル伯國海岸ニ於テ秘密局ノ設置ヲ企テ若クハ之ヲ設置セシメサル為メ諸州官憲ト打合セノ上聯邦官憲ニ於テ益其ノ監視ヲ嚴ニシ尚ホ伯國政府ハ此等ノ處置ニ加フルニ他ノ手段ヲ以テシ若モ當該官憲ノ命令ヲ遵守セサル場合ニハ强力ニ訴ヘテモ之ニ服従セシメ且ツ之ヲ尊重セシムルノ義務ヲ負ハシメ又陸海軍官憲ニ向ツテモ苟クモ不服従ノ企圖アルニ於テハ之ニ對シテ强力ヲ使用シ特ニ伯國諸港ニ抑留中ノ船舶カ規則上ノ許可ナクシテ出港セントスル場合ニ之ヲ實行スヘキ旨ノ命令ヲ繰返シ候

商船ニ關シテハ伯國政府ハ中立規程ニ違反シタルコトアル船舶ト同一會社ニ屬スル船舶ニシテ既ニ伯國港ニ存在セルカ若クハ今後入港スルモノハ更ニ命令ヲ下ス迄總テ之ヲ伯國港ニ抑留スルコトニ相定メ此目的ヲ以テ啻ニ上記ノ軍務的監視ヲナスニ止マラス官憲ニ於テ適當ト思考スル場合ニハ海軍省ノ許可ヲ得テ此等船舶ノ航行ヲ遮止スル樣處置スヘク之カ為メニハ機關ノ緊要部分ヲ撤去シ之ヲ官公貯藏所ニ保管スルコトヲ得ル處置モ此内ニ含マレ居リ候

無線電信使用禁止ニ違反スル明白ナル企圖アリタル場合ニ於テモ當該官憲ニ於テ必要ト思惟スル限リハ現ニ「レシフヱ」ニ行ハレタル如ク同樣ニ機器若クハ其部分ノ撤去ヲ行フヘク候又聯邦政府ハ反則者タル汽船會社ニ對シテ郵船トシテ特別取扱ヲ受クル特權ヲ隨時廢棄シ且ツ伯國港ヨリ出港スル船舶カ一定ノ一港若クハ數港ニ向ツテ單ニ適當ノ目的ヲ以テ航行スルコトニ關シ現ニ必要ト定メラレタル領事官ノ證明中ニ記載セル申告及保證ト此等船舶ノ航路及擧動トヲ對比檢案スルノ權利ヲ留保致候而シテ上記申告ニ關シテハ之ニ署名セル領事官其責ニ任スヘキ義ニ有之候

以上ハ伯國政府カ戰爭中ナル諸國ニ對シテ從來ノ通嚴正中立ヲ守ラントスル確乎タル意志

ヲ表彰スルモノニ外ナラサルモノニ有之候各御通知旁本官ハ茲ニ閣下ニ向ツテ敬意ヲ表シ候　敬具

千九百十五年一月九日

「リオ、デ、ジヤネイロ」外務省ニ於テ

「ラウロ、ミユルレル」（外務卿手署）

日本特命全權公使

畑良太郎閣下

智利國法令

智利國法令

第一　智利國ノ中立問題

（大正三年十二月十日附報告）

目　次

（一）太平洋海戰ト中立違反事件
（二）「ロンドン、タイムス」通信事件
（三）外務大臣ト「タイムス」通信員トノ會見
（四）獨逸側ノ中立侵害
（五）上院ニ於ケル外務大臣ノ演說
（六）中立侵害ノ事實
甲　仕向地ニ關スル虛僞ノ申告
乙　無斷出港
丙　領海內ニ於ケル敵對行爲及根據地ノ構成
附　「サクラメント」事件
「ヴアランチーン」事件
「ヘリコン」事件

（七）智利政府ノ態度附中立取締ニ關スル諸規定
（八）中立地帶ニ關スル南米 A.B.C. 三國ノ提議
（追加）中立取締ニ關スル諸規定

（一）太平洋海戰ト中立違反事件

大正三年十一月三日獨逸國軍艦 Scharnhorst, Gneissenau, Nuernberg ノ三隻ハ威容堂々馬港ニ入港同港陸上官憲ト禮砲ノ應酬ヲ爲シタル後司令官 Von Spee ハ直チニ上陸智利海軍總指揮官 Goñi 中將ヲ公式ニ訪問シ同月一日 Santa Maria 島沖合ニ於テ英獨艦隊ノ間ニ海戰アリ英艦 Monmouth, Goodhope ノ二艦ハ擊沈又ハ爆發ノ結果沈沒シタル旨ヲ語レリ此報道タルヤ最初當地人士ニハ宛モ寢耳ニ水ノ想ヲ爲サシメ一時ハ事ノ意外ナルニ喫驚シ其報道ノ果シテ信ナルヤ否ヤヲ疑フモノ、如クナリキ然レトモ其後漸ク海戰ノ實況分明トナリ前顯報道ノ誤ナキヲ確ムルニ及テ各新聞紙ハ海戰ノ記事ヲ以テ充塡サレ街上ニ倶樂部ニ苟モ人ノ會合邂逅スル所ハ必ス獨逸海軍ノ意外ナル勝利ヲ談シ英艦ノ悲慘ナル最後ヲ説カサルモノナキ有樣ナリキ

海戰談ニ相次テ朝野人士ノ注意ヲ喚起シタルハ獨艦ノ行動ニシテ其放恣暴戾動モスレハ智利ノ國法ヲ無視シ恬トシテ顧ミサラントスルカ如キ擧措ハ痛ク輿論ヲ刺擊シ世人ハ獨艦ノ擧措ヲ攻擊批難シテ止マサリキ此ニ於テカ從來穩微ノ裡ニ行ハレタル獨逸汽船ノ無線電信不正使用及其他幾多ノ奇怪ナル行動等一時ニ暴露シ之レカ爲メ尠カラス物議ヲ釀スニ至レリ而シテ之レト前後シテ所謂

（二）「タイムス」事件

ナルモノ起レリ本件ハ在山茶鄕倫敦「タイムス」通信員 Arthur Loveday 氏カ智利ニ發生セシ中立違反ノ行爲ヲ指摘シテ之レヲ本社ニ通報シタルモノナルカ該通信ハ十一月二日「ロンドン」發電トシテ當山茶鄕ニ逆送セラレ翌三日ノ當地新聞紙ニ大要左ノ如キ電報ノ揭載ヲ見ルニ至レリ

倫敦二日＝智利國山茶鄕ヨリノ入電ニヨレハ智利國ハ獨逸國ノ利益ノ爲メ中立違反ノ行爲ヲ寬假シ中立地帶ヲ戰鬪ノ目的ノ爲メ根據地トシテ使用セシムルノミナラス石炭ノ供給無線電信ノ使用及情報ノ傳達等ニ關シテ多大ノ利便ヲ獨逸側ニ與ヘツヽアリ

本電報ハ前揭載獨逸司令官ノ談話ト相俟テ大ニ當國朝野人士ノ注意ヲ喚起シ世人ハ漸ク事態ノ容易ナラサルモノアルヲ認ムルニ至レリ

於是外務大臣ハ當日直チニ右通信員ヲ外務省ニ召喚シ這般通信ナルモノヽ眞相ニ關シ取調ル所アリタリ而シテ智利政府ハ其會見ノ翌日ヲ以テ干係官憲ニ向テ中立嚴守ニ關シ一層其取締ヲ嚴密ニシ萬遺憾ナカランコトヲ期セシメタリ

（三）外務大臣ト「タイムス」通信員トノ會見

「タイムス」通信員ト外務大臣トノ會見談ハ其內容祕密ニ附セラレ窺知スルニ由ナキモ右通

信員カ翌四日ノ山茶郷新聞紙上ニ公表シタル辯明書ハ右會見談ノ消息ヲ傳フルト同時ニ中立違反ニ關スル事實ノ存在ヲ窺知セシムルモノアルヲ以テ左ニ其要旨ヲ摘記スヘシ

「タイムス」通信員ハ「タイムス」通信トシテ近頃各新聞紙上ニ現ハレタル智利官憲カ獨逸側ニ利益ヲ與フル爲メ偏頗ノ措置ニ出タリトノ記事カ自己ノ通信ノ事實ト大ヒニ齟齬スルモノアルヲ茲ニ公言セントス

「タイムス」通信員ハ智利官憲又ハ其政府ノ措置ニ向テ批評ヲ加ヘタルコトナシ余ハ單ニ起リタル事件ノ事實ヲ通信シタルノミ卽昨今頻々トシテ發生シツヽアル事件ハ智利官憲ニ無干係ノモノナラン而カモ事實ハ智利政府カ中立嚴守ニ努力シツヽアルニ拘ハラス其侵害ノ行爲ハ相踵テ起リツヽアリ其一例ヲ擧クレハKarnak號事件ノ如シ余カ通信ノ全文ハ實ニ左ノ如シ

獨逸船舶ハ智利港灣ニ於テ入手シタル石炭糧食ヲ以テ自國軍艦ニ供給ス又タ彼等ハ無線電信ニヨリテ常ニ情報ヲ得ツヽアルモノヽ如シ又タ同國汽船ハ仕向地ニ關シ虚僞ノ申告ヲナシ智利港灣ニ於テ自由ニ多量ノ貨物ヲ搭載出港シツヽアリ

右ノ次第ニテ余カ通信ハ事實ヲ報シタルニ過キスシテ智利政府ニ向テ何等批評ヲ加ヘタルモノニ非ス＝「ラヴデー」記名

（四）　獨逸側ノ中立侵害

抑モ今回戰爭ノ開始セラルヽヤ智利政府ハ交戰國ニ對シ各別ニ局外中立ヲ布告シ一九〇七年十月十八日海牙ニ於テ締結セラレタル中立國ノ權利及義務ニ關スル條約ヲ遵守スヘキ旨ヲ宣言スルト同時ニ之レヲ各縣知事及其他干係官憲ニ移牒シ中立違反行爲ナカランコトニ努メタリ然ルニ英獨軍艦及其武裝汽船カ智利領海内ヲ頻繁ニ航行シ國内各港灣ニ於テ糧食燃料ノ供給ヲ受ケツヽアルコト及其中立無視ノ行爲カ主トシテ獨逸國船舶ニヨリテ行ハルヽノ事實漸ク明瞭トナルニ及テ當國ノ中立義務ニ關シ種々錯綜セル問題ノ發生ヲ見ルニ至レリ而シテ該問題ノ最モ頻繁ニ起リタルハ十一月一日英獨艦隊衝突前後ニアリタルモノヽ如シ

特ニ獨逸艦隊ハ Juan Fernandez（英名 Easter Islands ト稱シ「ロビンソン、クルーゾー」ノ居住セリト云フ島）ニ集合地ヲ相シ太平洋諸方面ニ遊弋中ノ諸軍艦ハ十月十六日頃ヨリ數日ニ亙リ其一島 Mars Afuera ニ會合ヲ遂ケ同所ニ於テ石炭糧食ノ積込ヲ爲シ敵艦ノ動靜ヲ窺ヒ居リタルコトハ掩フヘカラサル事實ニシテ其行爲ハ即チ中立地帶ヲ戰鬪根據地ニ使用シタルニ外ナラサリシヲ以テ輿論ハ一層喧囂ヲ極メ政府ニ向テ强硬ナル態度ニ出テンコトヲ論議スルニ至レリ

（五）　上院ニ於ケル外務大臣ノ演說

山茶郷選出上院議員 Joaquin Walkar Martinez 氏ハ十一月四日外務大臣ニ向テ中立違反問題ニ關シ質問ヲ提起セリ即日外務大臣ハ上院ニ於テ左記ノ演說ヲナシ右質問ニ對スル答辯ヲ試ミタリ

中立義務ニ關シ政府カ執リ來リタル措置ニ就キ山茶鄉選出元老員カ提出セラレタル質問ノ次第ヲ了承シ本大臣ハ右元老員ノ所望ヲ滿タスヘク急遽參院シタル次第ナリ

本問題ニ關シ質問ヲ提起セラレタルハ本大臣ノ最モ滿足トスル所ニシテ余ハ同員ニ向テ深厚ノ謝意ヲ表ス如何トナレハ我カ沿岸ニ於テ交戰國相互ノ利益衝突ヲ生シ之レニ隨伴シテ發生シタル吾人ノ至難ナル境遇ニ際シ政府カ執リ來リタル措置ヲ說明スルノ好機ヲ余ニ與ヘラレタレハナリ今ヤ本問題ニ關シテハ「ロンドン、タイムス」通信事件アリ各新聞紙ハ熾ニ論議ヲ鬪ハシ加之本月一日「サンタ、マリア」島沖合ニ於テ勃發シタル海戰ノ報道ハ痛ク人心ノ緊張ヲ招キ物議囂々タル際ニシテ本件ニ關スル說明ハ尤モ時機ヲ得タルモノナリト信ス

刻下ノ戰亂ハ智利カ常ニ友誼利益ノ密接ナル干係ヲ有スル歐洲ノ交親國間ニ起リタルモノニシテ智利政府ハ其中間ニ介在シテ至難ナル境遇ニ在リ然カモ局外中立義務ヲ嚴重ニ履行シ來リタルコトハ余カ玆ニ特ニ聲明セント欲スル所ナリ

此ノ戰亂ノ爲メ世界到ル處ノ開明國ハ孰レモ重大ナル影響ヲ蒙リツヽアルコト吾人ノ最モ悲ム所ニシテ吾人カ此際ニ處シ交戰國各別及雙方ニ對シ最モ嚴密ニ中立ノ義務ヲ恪守スヘキ責任アルコト勿論ナリ

此義務勵行ニ關シテハ政府ハ戰爭開始後直チニ地方官及海陸官憲ニ向テ適宜ノ訓令ヲ發シタリ之レ一九〇七年十月十八日海牙ニ於テ締結セラレタル中立國ノ權利及義務ニ關スル規約遵守ニ關スルモノナリ該規約ハ智利政府之レニ記名ヲ了シタルモノニシテ刻下吾人ノ態度ヲ律スヘキ唯一ノ法規ナリトス本大臣ハ之レニ關シ內務大臣ノ注意ヲ喚起シ內務大臣ハ地方官ニ訓令ヲ發シタル次第ナリ

而シテ之レト同時ニ海軍官憲ニ向テハ適宜訓令ヲ發シ以テ領海內ニ碇泊セル船舶ニ對スル取締ヲ嚴ニシタリ

其後諸問題ノ發生スルヤ適當ト認メラレタル時機ニ於テ幾多ノ訓令ヲ發シ交戰國雙方ヨリ異議要求ノ口實ナカラシムルコトニ努メタリ

如上訓令ハ嚴格ニ施行セラレタリ我軍艦ハ日夜沿岸ヲ巡邏シ特ニ商船ノ通行路タル「マジエラン」方面ノ如キハ交戰國船艦相互間ニ捜索追及等ノ行ハレ得ヘキ地域ナルヲ以テ或ハ領海區域內ニ於テ此等敵對行爲ノ行ハルヽコトナキヲ逆睹スヘカラサルヲ以テ該地方ノ監視ハ最モ之レヲ嚴密ニシ其目的ニ向テ新造水雷驅逐艇二隻ヲ特派シ同艇ハ目下警備勤務ニ服シツヽアリ

此警備勤務ノ任ニ在ルモノカ善ク其職責ヲ遂行シツヽアルコトヲ玆ニ上院ニ報告スルハ本大臣ノ滿足トスル所ナリ此勤務アルカ爲メ既ニ幾多中立侵犯事件ノ發生ヲ未前ニ防遏スルヲ得タリ若シコレナカリセハ領海內ニ於テ商船拿捕ノ如キ事實カ幾回トナク發生シタルヤ疑ナカルヘシ

如上ヲ以テ本大臣ハ元老員カ提起セラレタル質問第一ニ對スル答辯トナス

元老員ハ更ラニ進ンテ中立違反行爲ニ就キ交戰國政府ヨリ何等抗議要求等ニ接シタルコトナキヤニ關シ質問セラレタルカ此種ノ要求ハ今日ニ至ル迄何等提出セラレタルコトナ

シ英國政府カ抗議ヲ智利政府ニ申込ミタリトノ風說アルモ事實無根ナリ但シ交戰國雙方ヨリ我官憲ノ措置ニ關聯シ各敵對國船艦ノ行動ニ關シ當國政府ニ向テ注意ヲ喚起シタルコトハ之レアリタレトモ政府ハ其都度監視ヲ嚴ニシ或ハ干係官憲ニ向テ機宜ノ訓令ヲ發シ之レカ取締ニ當ラシメタリ

我官憲ノ措置ニ關シ注意ヲ喚起セラレタル事件ハ幸ヒ何等ノ根據ナク無事解決ヲ告ケタルコトヲ上院ニ聲明スルコトヲ得ルハ本大臣ノ喜フ所ナリ而シテ本件ニ關スル事件中最モ重大ナル性質ヲ帶ヒタルモノハ智利南部ノ一港（譯者曰ク Coronel）ニ駐在セル一領事（譯者曰ク英國領事ナリト云）ノ警告ニ係ルモノニシテ智利無線電信ニヨリ交戰國一方ノ軍艦ノ動靜カ亞國方面ニ轉達セラルト云フ一事件ナリシモ取調ノ結果其無根ナリシコト證明セラレ警告者タル領事モ之レヲ諒トシ遂ニ其主張ヲ撤回スルニ至リタリ

中立侵害行爲ニシテ交戰國船舶ノ行動ニ係ルモノハ夥多アリ其中ニハ事實上證據ヲ有スルモノナキニ非ス

例ヘハ交戰國ノ船舶カ其仕向先ニ關シ虛僞ノ申告ヲナシ當國港灣ヲ出發シ後ヲ他方面ニ向テ航行シタルコト制規ノ手續ヲ履マス出港シタルコト等ハ事實ナレトモ刻下右等船舶中ニハ何等貨物ノ搭載ナクシテ出港シタルモノスラアリ要スルニ此等事件ハ當國官憲カ事實上之レヲ豫防スルコト能ハサリシモノナリ

仕向先變更ニ關シテハ刻下ノ場合或ハ出港後敵國軍艦ノ爲メニ拿捕ノ危險ヲ免レントスルノ必要ヨリ出タルモノモアルヘク此點ハ吾人ニ於テモ之レヲ諒トセサルヘカラス

此種ノ事件ニ對シテハ我政府ハ國際ノ恒例ニ從ヒ交戰國雙方ニ對シ均等公平ノ措置ヲ執リタリ

又タ陸上無線電信「ステーション」ノ存在或ハ船舶据付無線電信使用ニ關シ政府ニ向テ警告セラレタルコトアリ船舶据付無線電信機ニ關シテハ開戰當初ヨリ政府ハ其港內碇泊中之レヲ封緘シ其使用ヲ禁止スヘキ旨各干係者ニ命シタリ

然レトモ這般警告ニ接スルヤ益々取締ヲ嚴ニシ尙且ツ之レニ違反シタル場合ニハ海牙條約ニ從ヒ全然其設置取外シヲ嚴命シタルコトアリ

政府ハ特ニ注意ヲ拂ヒ交戰國カ智利港灣又ハ領水內ニ於テ敵對國ニ對スル戰鬪準備ノ爲メ根據地ヲ有スルコトナカラン爲メ之レカ豫防ニ向テ種々適宜ノ措置ヲ執リタリ而シテ無線電信機其他通信傳達ノ媒介トナルヘキ機具ノ設置ハ一切之レヲ禁シ其取締ヲ嚴ニセリ

政府ハ海牙條約ヲ遵守シ其有スル權能ニ基キ諸事件ニ對シ一定ノ法則ヲ設立スル必要ヲ認メ刻下之レカ研究中ニ屬ス政府ハ進ンテ米洲他ノ諸國ト協議シテ以テ一定ノ法則ヲ設立セント欲ス

我政府ノ措置ハ常ニ正義嚴肅ナリシコトヲ諸君ニ報告スルノ榮ヲ有ス即チ智利駐劄英國公使並ニ獨逸國公使ハ孰レモ書面ヲ本大臣ニ寄セ智利政府ノ態度ノ正鵠ナリシコトヲ贊稱セラレタリ

本大臣ハ終リニ臨ミ一言彼ノ囂々ヲ極メタル「タイムス」通信事件ナルモノニ及ハントス

該通信員カ發送シタル通信ハ用語少數明確ヲ鈌キタルノ嫌ナキニ非ス而シテ之レ誤解ヲ惹起シタル原因ナラント信ス

右通信ハ當國新聞紙カ譯出ニ際シ誤リテ他ノ意味ヲ附加シ「タイムス」紙カ智利政府ノ措置ニ對シ批難ヲ加ヘタルカ如キ語句ヲ以テ發表セラレタリ

本大臣ハ右通信員ヨリ滿足ナル辯解ヲ得タリ本件ニ關シ英公使ハ本大臣ヲ訪問シ智利政府ノ措置ニ對シテハ何等批難ノ理由ナキコトヲ英國政府ニ通報セラレタル旨ヲ本官ニ語ラレタリ是レ本大臣ノ最モ滿足トスル所ナリ

又本大臣ハ在「ロンドン」智利公使ニ電訓シ彼地ニ於テ本件ニ關シ何等誤解ノ生セサラシムルコトニ努ムヘキ旨ヲ命シ置タリ

元老員ハ又本月一日ノ海戰カ智利領水內ニ於テ行ハレタルヤ否ニ關シ質問セラレタルカ政府カ今日迄ニ得タル報道ニヨレハ該海戰ハ領水ヲ去ルコト多大ナル距離ニ於テ行ハレタルモノヽ如シ當時沿岸地方ニ於テ砲聲ヲ聞キタルモノナク又近海ニ於テ毫モ海戰ヲ證明スヘキ遺物スラ發見シ能ハサリシ事實ハ其距離ノ多大ナリシコトヲ證明スルモノニ非スヤ

智利政府ハ右海戰ノ報ニ接スルヤ交戰國雙方ニ對スル人道上ノ義務遂行ノ目的ヲ以テ救助ノ爲メ一隻ノ軍艦ヲ現場ニ向テ急派シタリ云々

(六) 中立侵害ノ事實

抑モ今回智利國ニ中立違反問題カ發生シタルハ畢竟スルニ交戰國雙方カ南米太平洋岸ニ殖民地ヲ有セサル結果石炭糧食ノ供給ヲ得ルニ困難ヲ感シタルカ爲メニ外ナラス今之ニ大別スルニ

甲、仕向地ニ關スル虛僞ノ申告

乙、無斷出港

丙、智利領域內ニ於ケル敵對行爲

甲、仕向地ニ關シ虛僞ノ申告ヲナシ多量ノ燃料糧食ヲ積込ミタル事件ニ屬スヘキモノハ獨逸船 Seidlitz, Karnak, Santa Isabel 號等ノ事件ナリトス此等船舶ハ孰レモ自國最近ノ港灣ニ航行スルコトノ保障ヲ與ヘ就中「サイドリッツ」號、「カルナック」號ノ如キハ其仕向地ニ關シ在智利獨逸國公使カ外務省ニ向テ其自國行ナル旨ノ保障サヘ與ヘ之カ爲メ多量ノ石炭ト糧食ノ積込ヲ許サレタルニ拘ハラス實際ニ於テ此等船舶ハ獨逸國軍艦ニ對シ石炭及糧食ノ供給ヲ爲シツヽアリシコト其後ノ行動ニヨリテ暴露セラルヽニ至レリ而シテ此等ノ事件ハ主トシテ開戰初期ニ於テ發生シタルモノトス

乙、之レニ反シ本項事件ハ前甲項ニ揭クル事件カ幾度カ繰返ヘサレ智利官憲ノ監視追々嚴重ヲ極メ遂ニ外交官ノ言質モ亦容易ニ智利官憲ノ信賴ヲ買フコト能ハサルニ至ルヤ獨逸干係者カ智利官憲ヲ强要シテ石炭糧食ノ搭載認可ヲ受ケ其出帆ニ際シテハ出港手續スラ履マス夜間竊カニ出港シ其得タル石炭糧食ヲ自國軍艦ニ供給シタル事實ニ基因スルモノトス而シテ本件ニ屬スルモノハ獨逸船 Luxor 及 Memphis 等ノ事件ナリトス

前陣ノ如ク獨逸側ノ不法行爲屢々繰返サル、ヤ智利政府ハ獨逸汽船會社 Cosmos 代理人ニ戰爭結了迄現下智利港灣繫留中ノ船舶ヲ抑留スル旨ヲ嚴達セリ然ルニ茲ニ端ナクモ又一新事件ノ發生ヲ見ルニ至レリソハ即チ

丙、Sacramento 號入港事件ナリトス同號ハ北米ノ船籍ヲ有スト雖モ舊名 Alexandria ト稱シ戰爭前ハ獨逸國籍ニ屬シタリ其後桑港ニ於テ船籍ヲ變更シ名ヲ「サクラメント」ト改メ十月十五日石炭九千餘噸、糧食二千餘噸ヲ搭載シテ同港ヲ出帆シタルモノニシテ右積荷ハ表面馬港獨逸電鐵會社宛ノ如ク裝ヒタルモ其實獨艦ニ賣込ミノ目的ヲ以テ來航シ來リタルモノナルコト疑ナキカ如シ而シテ右石炭糧食ノ受授カ「マス、アフオエラ」島ノ一港内ニ於テ行ハレタルコトハ正シク中立侵犯ノ行爲ト認メラル、ノミナラス之レニ關聯シテ他ノ一事件ノ發生ヲ見ルニ至レリ其ハ即チ捕虜トシテ同船カ搭載シ來リ馬港ニ於テ同港駐在佛國領事ニ引渡シタル三十二名ノ佛國人ニ關スル事件是ナリ

「ヴアランチン」Valentine 號事件

右佛國人ハ佛國帆船「ヴアランチン」號ノ乘組員ニシテ同船ハ獨逸軍艦ノ爲メニ拿捕セラレ其搭載石炭ハ奪取セラレ同船體ハ智利領水ニ於テ擊沈セラレタルモノ、如シ

今同船長ノ申告書ナルモノヲ見ルニ「ヴアランチーン」號ハ十一月三日太平洋上ニ於テ獨軍艦「ライプチツヒ」ノ爲メニ拿捕セラレ「マス、アフオエラ」島ニ伴ヒ行カレ同月五日同島ノ一港ニ着シ同所ニ於テ石炭積卸ヲナシ且ツ同所ニ於テ擊沈セラレタリト云フ

本件ニ關シテハ佛國政府ハ智利駐劄公使ヲシテ智利政府ニ抗議ヲ申込マシメタリ而シテ其結果智利政府ハ直チニ軍艦 Baquedano ヲ該島ニ派遣シ實地調査ヲ命シタリ

本項ニ屬スル事件ニ關シテハ尙ホ

諸威船 Helicon 號事件

ナルモノアリ同船ハ十一月一日獨逸國武裝船 Titania ノ爲メニ捕獲セラレ其後運送船 Baden ニ引率セラレ十一月七日「マス、アフオエラ」島ノ一港ニ到リ同所ニテ搭載石炭ヲ獨逸軍艦 Gneissenau 及其他ノ獨逸艦船ニ轉載シタル後十一月十八日ヲ以テ解放セラレ其仕向先「カレタ、コロツサ」(Caleta Colosa) ニ向テ出帆十一月二十六日同所ニ着シ更ラニ Antofagasta ヘ轉航同港ニ於テ前顯申告公正證書ヲ作成セリト云フ

以上擧示ノ實例ガ示ス如ク獨艦船カ智利領域内ニ於テ種々敵對行爲ニ涉ル行爲ヲ爲シタルノ事實漸ク顯著トナリタルノミナラス獨逸國軍艦カ「マス、アフオエラ」島ノ一港内ニ數月間且ツ十一月一日海戰前後ニ於テ碇泊シタルコト明カトナルヤ一日鎭靜セントシタル人心ハ茲ニ再ヒ沸騰ヲ來タシ國論喧囂ヲ極ムルニ至レリ

(七) 智利政府ノ態度附中立取締ニ關スル諸規定

前陣ノ次第ニシテ智利國中立カ侵害セラレタルハ事實ナルカ如ク而シテ智利政府ハ之レニ關シ或ハ省令或ハ命令ノ形式ヲ以テ幾多中立法規ナルモノヲ發布シ專ラ中立違反ノ防遏ニ努ムル所アリキ今其法規ヲ大別スルニ

甲、政府カ局外中立ノ一般原則ニ遵據シ其恪守ニ努メタル中立法規

乙、國民ノ行爲監視ニ關スル規則

甲ニ屬スルモノハ

（一）領海區域內ニ在ル外國船舶取締規則

（二）內務大臣ヨリ地方官ニ發シタル訓令

（三）石炭供給制限規則

（四）海上管轄區域ノ設定

（別項第一號乃至第四號參照）

第一號

智利領域內ニ於ケル船舶取締規則

第一條　智利港灣ニ碇泊シ又ハ其領水ヲ航行スル凡テノ船舶ハ其携帶スル書類ヲ智利官憲ノ檢閲ニ附スル義務アリトス

智利官憲ハ必要ナリト認ムル場合ニハ本規則ニ從ヒ船舶ヲ臨檢シ其乘客、積貨及書類ノ檢閲ヲナスヲ得

故ニ如何ナル船舶ト雖トモ其積貨ノ種類其仕向地等ニ關シ明細ナル申告書ヲ提出セサルトキハ之レカ出港ヲ許可セサルヘシ

第二條　商船ニシテ其船質ヲ變更シ又ハ變更セントスルモノ即チ之レヲ假裝巡洋艦トナシ又ハ之ニ武裝ヲ加フルノ意アルコトヲ推定セシムヘキ理由ノ存スル場合ニ於テハ其程度ノ多少ニ拘ハラス之レカ出港ヲ許可セサルヘシ

左ニ掲クル行爲ヲ以テ船質變更ト見做ス

一、入港後其裝置スル大砲ノ位置ノ變更、船體ノ變色其他船具ノ變更ニシテ戰鬪ノ目的ニ使用スヘキ嫌疑アルモノ

二、戰鬪ノ目的ヲ以テ船舶ヲ艤裝シ大砲、武器及彈藥ノ積込ヲ爲スコト

三、乘客收容ノ設備アルニ拘ハラス船客ノ乘船ヲ拒絕スルコト

四、不當ニ多量ノ石炭ヲ積込ムコト

第三條　海軍官憲ハ或ル一港ニ入港シタル船舶カ書類及ヒ船貨ニ關スル申告書ヲ提出スルニ當リ其所屬國領事ノ證明ヲ添付セシムヘク又タ其船舶カ貨物及旅客ノ運搬ニ從事スルモノナルカ又ハ其國海軍ノ所屬船ナルヤ否ヲ明ナラシムヘシ

若シ後者ノ場合ニ於テハ入港後二十四時間內ニ出港スヘキコトヲ通知シ其國最近ノ港灣ニ到ル航行ニ堪ユル炭量ヲ限度トシ其積込ヲ許可スヘシ

第四條　交戰國ノ軍籍ニ在ル船艦ハ凡テ智利領水ニ於テ戰鬪準備ヲナシ又ハ其敵國船艦ノ行動監視ヲナスコトヲ得サルモノトス

第五條　交戰國一方ノ軍艦ハ他ノ一方ノ軍艦カ同一港ヨリ出港シテヨリ二十四時間ヲ經過シタル後ニ非レハ出港スルコトヲ得ス

第六條　交戰國ノ軍艦ハ凡テ入港ノ時ヨリ起算シテ二十四時間內ニ出港スルコトヲ要ス但シ天候險惡、糧食ノ缺乏、又ハ不得止修繕ノ必要ナル場合ハ此限ニ在ラス此等ノ場合ニハ規定ノ二十四時間經過後成ルヘク早ク出港スルヲ要ス而シテ其糧食ハ直接應急ニ必要

ナルモノヲ除ク外積込ムコトヲ得ス修繕ニ關シテハ左ノ規定ニ從フヘシ
修繕完成後二十四時間以上智利領水ニ碇泊スルコトヲ得ス若シ其二十四時間內ニ敵國軍艦カ同一港ヨリ出港シタルトキハ修繕ヲ加ヘタル船艦ハ敵艦出港ノ時ヨリ二十四時間ヲ經過スル迄ハ同所ニ碇泊スルコトヲ要ス

第七條　交戰國ノ軍艦ハ智利領水ニ於テハ其乘組員ノ生活ヲ支持スルニ必要ナル糧食及物品ヲ除クノ外其他ノ物品ハ本規則第三條規定ノ石炭以外ヲ積込ムコトヲ得ス

第八條　凡テノ商船ニ對シ智利領水ニ碇泊中其設備セル無線電信機ノ使用ヲ禁ス此禁止ヲ有効ナラシムル爲メ無線電信機ノ使用ニ必要ナル器具一部ノ取外シヲ命スルコトアルヘシ

補　則

第一　本規則施行上必要ト認ムル場合ニハ共和國軍艦ヲ主要港灣ニ碇泊セシメ智利港灣ヨリ出港スヘカラサル外國船舶ノ不正出港ヲ防遏セシムルコトアルヘシ（十一月四日）

第二號

内務大臣ヨリ地方官ニ發シタル訓令（十一月七日）

本大臣ハ外務大臣ヨリ左ノ通牒ニ接シタリ

交戰國軍艦ノ我沿岸ニ出沒スルモノアルニ付キ共和國官憲ハ此際政府カ宣言セル局外中立ヲ嚴守シ且之レカ支持ニ力ムルコトヲ要ス特ニ無線電信機ノ設置ヲ防遏スルコト又ハ交戰國ノ軍艦ト交通スル目的ヲ有スル機具ハ如何ナルモノト雖モ之レカ設置ヲ禁止スヘク之レヲ監視スルコトハ主トシテ各縣知事及郡長ノ職責ニ屬スルモノトス

刻下交戰國一方ノ勝利ニ向テ利益ヲ有スル國民ハ對手國ナル敵艦ノ行動及之レニ關スル情報ヲ其自國側ニ傳フルコトニ力ムヘキニ付キ之レヲ嚴密ニ監視スルコトハ實ニ現下ノ急務ナリトス

交戰國外交代表者カ我政府ニ向テ爲シタル警告ノ原因タリシ事件ヨリ察スルニ我行政官憲ハ我領域內ニ於ケル中立違反ノ行爲カ政府及行政官憲ノ至大ナル責任ト關聯スルモノナルヲ知ラサルカ如ク推定セラル

故ニ貴省管轄ニ屬スル官憲ニ向テ曩キニ公布シタル第二回海牙會議締結條約ノ嚴重ナル履行方ニ關シテ御訓令アランコトヲ希望ス

以上外務大臣ヨリ照會アリ貴知事ハ右ノ趣ニ基キ其管轄內ニ在ル郡長ニ右御移牒ノ上之レカ實行上遺憾ナカラシムルコトニ努メラレ度シ以上

第三號

石炭供給制限規則（十一月七日）

第一　外國行船舶カ石炭ノ積込ヲナス場合ニハ書面ヲ以テ左ノ申告ヲナスヘシ

イ　其船舶カ現ニ有スル石炭ノ數量

ロ　其船舶ノ機關ノ種類、一日ノ經濟的石炭消費額

ハ　豫定出港時日

ニ　積込ムヘキ石炭カ當該船舶ニ使用セラレ決シテ之ヲ交戰國軍艦ニ供給セサル旨ヲ其

ホ　所屬領事及當該船舶代理人ヨリ書面ヲ以テ保證スルコト
船長及機關長ハ其所屬船ノ石炭消費量及速力ヲ説明スル陳述ヲ港務局ニナスコト
第二　左ノ條件ニテ仕向地ニ到ルニ必要ナル石炭ノ積込ヲ許可ス
イ　經濟的速力ニテ航行スルコト
ロ　豫告ニ從ヒ「マジエラン」海峽又ハ「パナマ」經由ニテ最近航路ニヨリ歐洲ニ向フコト
第三　前顯規定ノ分量ヲ超ユル石炭ノ積込ハ之ヲ禁止ス
第四　本規則ハ途中寄港スルコトナク直接外國ニ向テ航行スヘキ船舶ニノミ適用ス
第五　數日ニ亙リ一港内ニ碇泊スル船舶ニハ港内消費量一個月間ノ分量ノ外天候其他ノ豫備トシテ石炭百噸迄積込ヲ許可スルコトアルヘシ
港内消費量ハ其機關及貯炭庫ノ種類ニ依テ之レヲ定ム

第四號

外務省第一八五七號一九一四年十一月五日

共和國領海領土ノ區域ヲ劃定シ國内保安及ヒ共和國法律勵行ノ目的ヲ以テ警察權ヲ適用スル範圍ニ關シテハ法律ノ規定存スレトモ外國戰爭ノ場合ニ於テ共和國政府カ宣言セル中立權利ノ支持及其義務勵行ノ爲メニ生スヘキ海上區域ニ關シテハ何等確定シタルモノナシ而シテ之レヲ確定スル權能ハ國家ノ主權ニ屬スルモノナルヲ以テ左ニ之ヲ定ム
外國戰爭ノ場合ニ於テ共和國政府カ宣言シタル中立ヨリ生スヘキ權利ノ支持及義務ノ勵行ノ爲メニ共和國沿岸ニ於ケル海上管轄中立區域ハ最低潮線ヨリ起算シテ三海里ニ及フモノトス
右登記通牒公布ノ手續ヲ了シ之レヲ政府ノ法令集ニ記入スルコトヲ命ス

大統領　ラモン、バロス、ルコ(署名)
外務大臣　マヌエル、サリナス(署名)

乙ニ屬スルモノハ
(一)　交戰國ニ對スル「デモンストレーション」禁止令
(二)　電信制限規則(別項第五號及第六號參照)

第五號

遞信管理本局發廻章(十一月十二日)

暗字又ハ記號電信ハ其外國行ナルト内國行ナルトニ拘ハラス一切之ヲ受理スルコトヲ禁ス
分リ易キ國語即チ西班牙語、獨逸語、佛蘭西語、英吉利語、伊太利語又葡萄牙語ノ電信ニシテ交戰國軍艦ノ所在行動又ハ作戰等ニ關セサル通信ハ之レヲ受理スルコトヲ得但シ外交官及領事官ノ發送スル電信ハ本令制限ヨリ除外スルモノトス
外國語ノ通信ニシテ其性質ニ關シ疑アル場合ニハ直チニ本局ニ通知シ其指揮ヲ請フヘシ

第六號

領海事務局ノ通知(十一月十五日)

海軍大臣ノ通牒ニ基キ左ノ件ヲ通知ス
現國際戰爭ニ於ケル交戰團體ノ孰レニ屬スルヲ問ハス我沿岸ノ諸港ニ於テ他ノ一方ニ反抗

セル示威運動ヲナスコトヲ禁ス故ニ凡テノ船舶ハ其地海事官憲ノ許可ナクシテ裝飾ノ爲メニ國旗ヲ揭揚シ、飛揚物、爆竹、燈火又ハ鳴鐘ヲ使用シ其他交戰國一方ノ感情ニ影響ヲ及ホス恐レアル表示及之レニ同情又ハ反抗ノ情ヲ表彰スルカ如キ表示ヲ爲スコトヲ禁ス之レニ背反スルモノハ海上警察規則第六十二條ニ規定スル刑罰ヲ受クヘシ

海軍總指揮官　ルイス、ゴニ(署名)

(八) 中立地帶ニ關スル南米ＡＢＣ三國ノ提議

當國以外南米太平洋沿岸諸國即祕露、「エクアドル」、古倫比亞等ニ於テモ中立違反問題ヲ惹起シタル事實アリ例ヘハ英佛政府カ華盛頓政府ニ移牒シ其注意ヲ惹起シタリト傳ヘラル、所ノ彼ノ古倫比亞國內ニ於ケル無線電信不正設置事件、「エクアドル」國領域內ニ於ケル根據地設定默認事件等ノ如キ是ナリ然レトモ是等事件タルヤ要スルニ現下南米諸國ノ武力カ未タ强大ナラス自力ヲ以テ遺憾ナク中立義務ヲ勵行スルコト能ハサル事實ニ起因スルモノト謂ハサルヘカラス而シテ此事情ハ各國ノ均シク容認スル所ニシテ南米諸國ハ其實寧ロ力ノ及フ限リ公平ニ局外中立ヲ恪守セント欲シタルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ而シテ偶マ其發生シタル事件ナルモノヲ見ルニ悉ク自國防備ノ欠陷ニ胚胎スルモノニシテ各干係諸國ニ於テハ之レカ爲メ却テ至大ナル迷惑ヲ感シタル如キ事情ナキニ非ス例ヘハ之レカ爲メ沿岸通商航海カ全然杜絕セラレ幾多ノ損害ヲ蒙リタルカ如キ事實アリ是レ蓋シ南米ノＡ、Ｂ、Ｃ即亞爾然丁、伯剌西爾、智利ノ三國カ他ノ諸國ニ檄シテ一致團結ノ必要ヲ勸誘シ又一方北米合衆國ト圖リ全米會議ノ開催ヲ好機トシ南米地域ニ沿フ海上一帶ヲ中立圈內ニ置カントノ提議ヲ試ミントスル所以ナルヘシ然レトモ此問題タルヤ各國ノ利害相錯綜シ居リ一朝一夕ニ能ク其解決ヲ告ケ得ヘキ性質ノモノニ非ルコトハ敢テ識者ヲ俟テ後ニ知ルモノニ非スト雖モ而モ南米諸國ノ中立事項ニ關シテハ早晚必スヤ問題ノ再起ヲ見ル日アルヘク或ハ之レカ爲メ從來ノ國際法上ニ變更ヲ來タシ特ニ一新例ノ設定ヲ必要トスルカ如キ新事態ノ發生ヲ見ルコトナキヲ保スヘカラスト信ス

(追加)中立取締ニ關スル諸規程

千九百十四年十一月以後智利國ニ於テ發布セラレタル中立法規ハ左ノ如シ

一　「マジエラン」海峽幷ニ南部「カナル」地帶ヲ智利管轄海區域ト見做ス件

一九一四年十二月十五日

「マジエラン」海峽幷南部「カナル」地帶ハ智利國々際境界內ニ在リ而シテ當共和國領域ノ一部ヲ構成スルモノタルヲ以テ左ノ通リ規定ス

十一月五日附外務省令第一八五七號中ニ考慮シタル中立支持ノ效果ニ關シテハ「マジエラン」海峽及ヒ南部「カナル」地帶ノ水域ハ兩岸ヨリ三哩以上ノ距離ニ在ル部分ト雖モ尙ホ之レヲ當國管轄海區域內ニ在ルモノト見做ス

右登記通牒公布ノ手續ヲ了シ之レヲ政府ノ法令集ニ記入セシム

大統領　バロス、ルコ(署名)

外務大臣　マヌエル、サリナス（署名）

一　戰爭ノ場合ニ於テ艦船ニ供給スル燃料制限ノ件

一九一四年十二月十五日

戰爭ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利及義務ニ關スル海牙第十三號條約第十九條ハ中立國港灣ニ於テ交戰國軍艦ハ自國最近ノ港灣ニ達スルニ充分ナル燃料ノ供給ヲ受ケ得ヘキコトヲ規定シ而シテ其第二十條ニ於テ右軍艦ハ三箇月經過後ニ非レハ同中立國ノ港灣ニ於テ燃料ノ供給ヲ再度受クル能ハサルコトヲ規定ス

該條約ノ前記及其他ノ規定ハ中立國カ直接又ハ間接ニモ交戰國ノ行動ニ協力スルコトヲ防クノ趣意ニ基クモノニシテ而シテ該軍艦ヲシテ自國沿岸ニ達スル爲メニ必要ナル物件ノミノ供給ニ對シテ便宜ヲ得セシメ以テ中立港灣ヨリ之レヲ隔離セシムルニ存スルヤ明ナリ

然ルニ當共和國港灣ニ於テハ右規定ノ適用ハ偶マ以テ該條約ノ諸條項ニ通貫セル精神ト全然背馳セル結果ヲ生セシメタリ如何トナレハ我港灣ハ交戰國ト隔絶セル爲メ交戰國軍艦ニ供給スヘキ石炭ハ莫大ノ數量ニ達スルヲ常トス而シテ此等交戰國軍艦ハ此利便ヲ奇貨トシ自國港灣ニ向ハス却テ亞米利加海上ニ於テ其戰鬪行爲ヲ繼續スルコトヲ敢テセリ

此ニ於テカ前掲規定ノ適用ハ智利國政府ノ精神及其利益ニ背反シ却テ太平洋上海戰ノ準備行動ヲ事實上幇助シタルノ奇觀ヲ招クニ至レリ

而シテ其結果我國ハ歐洲戰爭ヨリ來ル影響ヲ一層甚大ニ感シタリ即之レカ爲メ我國際貿易上及經濟工業上ニ恐慌ヲ招致シタルノミナラス我海事官憲ヲシテ局外中立義務ノ勵行ニ尠カラス苦慮セシメ又其延長セル沿岸ノ監視ヲ全フスル爲メ多大ノ勤勞ニ服セシメ而シテ國庫ニ對シテハ輕カラサル負擔ヲ課スルニ至ラシメタリ

前記第十三號條約ノ前文第五ニ依レハ締盟國ハ他國ノ戰爭進行中其得タル經驗ニ基キ自國ノ權利擁護上必要ト認ムル場合ニハ該條約ノ規定ヲ變更スルノ權能ヲ有スルモノトス

仍テ想フニ向後交戰國軍艦ニ對シテハ其國港灣ニ到達スルニ必要ナル石炭量ヲ供給スルコトノ代リニ他中立國最近ノ一港ニ到ルニ足ルノミ燃料ヲ供給スルコトニ變更セハ第十九條ノ適用ヨリ生セル背理ノ事態ヲ大ヒニ輕減シ得ヘク且ツ此ク制限ヲ加ヘラレタル軍艦ハ海上ニ停滯スル危險ヲ冒スニアラザレハ戰鬪行爲ヲ遂行シ得サルニ至ルヘシ

由來我國ハ石炭産出國タルカ故ニ交戰國軍艦ハ我國ト同シ狀態ニ在ラサル他國ノ港灣ニ到ルヲ好マス專ラ我港灣ニ來リテ其燃料ノ供給ヲ得ルコトニ努メタリ故ニ智利政府ハ其港灣ニ於テ今後石炭ノ供給ヲナスニ方リ此ノ非理的利便ヲ享有セシメサルコトニ一層努力スヘキ德義上ノ義務アリト信ス

又タ商船ニシテ中立違反ノ行爲アリタル場合ニハ政府ハ其制定セル規則ヲ峻嚴ニ適用シ汽船會社ヲシテ直接且ツ痛切ニ其苦惱ヲ感セシムルニ足ルヘキ制裁ヲ設定スルコト亦タ極メテ緊要ノコト、思惟ス

而シテ中立違反ノ爲メ共和國港灣ニ抑留セラレ又ハ船主ノ任意ニテ繋留セル船舶ノ監視ヨリ生スヘキ國庫ノ負擔ヲ成ルヘク輕減スルノ目的ヲ以テ一定ノ規則ヲ制定スルコトノ極メテ必要ナルヲ認メ左ノ通リ之ヲ定ム

第一　智利港灣ニ於テ交戰國ノ軍艦ニ今後供給スヘキ石炭ノ數量ハ隣國最近ノ石炭港ニ達スルニ必要ナルモノヲ補充スルニ止ムヘシ

第二　商船ニシテ當共和國政府カ其中立支持ノ爲メ制定シタル法規ニ違反セル行爲アリタルトキハ該船舶所屬會社ノ所有スル他ノ船舶モ凡テ智利港灣ニ於テ燃料ノ供給ヲ受クルコトヲ得サルモノトス

第三　中立違反ノ爲メ政府ノ命ニヨリ抑留セラレタル船舶及ヒ船舶所有主カ戰爭ノ終了迄之レヲ智利港灣ニ繫留スヘキ意思ヲ表示シタル船舶ニ對シテハ智利行政官憲ハ其都度機宜ノ處分ヲ決定シ之レヲ智利港灣ノ一ニ集中セシムルコトアルヘシ

第四　共和國港灣ニ於テ一般商船ニ供給スヘキ石炭量ハ其裝置セル通常貯炭庫ノ容積ヲ斟酌シテ其數量ヲ定ムヘシ但シ歐洲ノ港灣ニ直航スル場合ヲ除ク此場合ニハ該船舶所屬會社ニ右燃料カ其船舶航海ノ爲メニノミ使用セラルヘキコトヲ保證セシメ其保證ヲ政府カ充分確實ト認ムル場合ニ於テハ右航海ニ必要ナル石炭ヲ供給スルコトアルヘシ

本規定ハ來ル一月一日ヨリ共和國一切ノ領域内ニ於テ施行ス

右登記通牒公布ノ手續ヲ了シ之レヲ政府ノ法令集ニ記入セシム

大統領　バロス、ルコ（署名）

外務大臣　マヌエル、サリナス（署名）

墨西哥國法令

墨西哥國法令

第一　局外中立宣言

（大正三年十一月六日安達全權公使報告）

局外中立宣言書譯文

墨國政治執行權ヲ擔任スル憲政軍總司令官ハ今ヤ獨逸國、墺洪國、白耳義國、佛蘭西國、大英國、日本國、「モンテネグロ」國、露西亞國及「セルヴイヤ」國ノ間ニ存在スル戰爭ニ關シ墨西哥國ハ嚴正中立ヲ守ルコトヲ宣言シ且ツ之ヲ總テ關係者ニ通告ス

右宣言ノ結果トシテ政府ハ海戰ノ場合ニ於テハ局外中立國ノ權利義務ニ關シ千九百七年十月十八日附「ヘーグ」ニ於テ調印セラレタル議決書中ニ規定スル規約ノ適當ニ履行セラル、コトノ爲メニ夫々必要ナル措置ヲ取レリ

墨西哥府

千九百十四年九月二十五日

墨國外務省

外務大臣代理「イシドロ、フアベラ」

大正四年五月二十四日印刷
大正四年五月二十六日發行

海軍大臣官房

印刷者　東京市京橋區木挽町二丁目十三番地　北村文重

印刷所　東京市京橋區木挽町二丁目十三番地　中屋商店印刷所

147
130